

留学先国名 : イギリス

留学先学校名 : コヴェントリー大学

留学期間 : 平成 26 年 9 月 29 日 ~ 平成 30 年 6 月 30 日

1 年間のファンデーションコースを修了し、夏休みは日本に一時帰国していましたが、9 月 16 日に再度渡英し、1 週間のインダクションウィークを経て、授業が始まりました。昨年は留学生ばかりの環境で勉強していたため、なんとなくイギリスで学んでいるという実感は薄かったですが、今学期からは周囲のほとんどがイギリス人の学生になり、ようやくイギリスの大学生になったという実感が湧いています。

昨年のファンデーションコースと現在の学部過程を比較して感じることを書いていきたいと思います。まず授業についてですが、ファンデーションコース在学時、平日は毎日授業があり忙しい日々でした。ですが、学部過程では授業がない日もあり、自由な時間が増えました。これは決して楽になるということではありません。授業がない日は予習、復習など個人で勉強する時間として与えられたものなので、自分で時間や勉強内容の管理をしなければなりません。なので学部過程ではタイムマネジメントの能力がより重要になると感じています。僕自身はできることはその日のうちに済ませるように考えて生活を送るようにしています。

授業内容については、ファンデーションコースを修了し、スポーツマネジメント専攻になったことで、まさに自分が学びたい分野の勉強をできるようになりました。イギリスの大学では基本的に一般教養を学ぶという概念が無いので、1 年次から自分の専攻について専門的に学んでいきます。まだ授業が始まって 1 か月半程しか経っていませんが、すでにサッカーなど様々なスポーツが具体的なトピックとして扱われる授業が多く、とても興味深いです。また、これまで授業を受けてきて、ファンデーションコースで学んできたことがそのまま学部の授業でも出てくることが多々あるようにも感じます。ファンデーションコースではビジネス、社会学、心理学などスポーツとは懸け離れた分野の授業を取っていましたが（自分で選択することはできませんでしたが）、意外なところで繋がりがあるということを最近学びました。ですので、これからイギリスの大学にファンデーションコースを通して留学することを考えている方には、最初の一年を大事にすべきことを知っていただきたいと思います。一見自分の専攻とは関係のないように見えても、実はそこで学んだことが学部で生きてくるともあります。例えば、僕自身がファンデーションコースで学んだ中で一番役立っていると思うことのひとつはレファレンスについてです。大学ではレポートなどで参照した参考文献などを正しい方法で示さないと盗用を疑われることもあるのでレファレンスはとても大切です。その他にも学べることは多くありますし、ファンデーションコースで力をつけてから学部に進学できるという点は、イギリスの大学に進学するにあたっての一つのメリットだと思います。

また授業の一環として、10 月 5 日から 8 日まで、イギリス・リバプールにフィールドトリップに行きました。これはコヴェントリー大学のスポーツ・イベントマネジメント系の学部 に在籍する学生が参加し、リバプールにあるスポーツクラブやその施設を見学し、実際にスポーツの現場で働く方から講義を受けるというものです。今回はリバプールフットボールクラブ、リバプールクリケットクラブ、そしてエイントリー競馬場を訪れました。ど

れもイギリス発祥のスポーツということもあり興味深い内容でしたが、特にリバプール FC のホームスタジアム、アンフィールドのスタジアムツアーには一番惹かれました。イギリスは近代サッカーの母国と言われるだけあって、スタジアムも大規模で、ほとんどがサッカー専用になっています。日本のスポーツ文化との違いなどを実際の現場で自分の目で確かめられることは、スポーツを学ぶ上では重要なことなので、本当に有意義な機会になりました。スポーツに限らず、イギリスは様々な分野で最先端をいく国なので、そういった環境で学べるということも一つの大きなメリットだと思います。

授業以外では、インターンシップをするための準備をしています。僕は大学卒業後のことも考え、来年の夏にはインターンシップをしたいと考えています。スポーツマネジメント専攻ということと、海外で働きたいという希望があるため、可能であれば、スポーツ産業が盛んなこちらでインターンシップができればと考えております。具体的な準備としては、CV（英文履歴書）を書くこと、スポーツ専門の求人サイトからインターンのポジションを探すこと、そして海外で働く日本人の方にコンタクトを取り、質問をしたりアドバイスを頂いたりすることです。日本に帰国してしまえば、海外でのインターンシップなど、チャンスを得ることがなかなか難しくなると思うので、大学生としてこちらに残れる間にできることはしようと考えています。これから留学される方には、その国や地域でしかできないことが何かを考えて、それを行動に移せるようにすべきだと思います、とアドバイスしたいです。